

議題	資料	意見・質問	質問者	市回答
<p>2 議事 熊本市障がい者プランの策定について</p>	<p>資料4 熊本市障がい者プランの策定について</p>	<p>「第5期熊本県障がい者計画(中間見直し)基本方針」で、「Ⅲ 重点化の視点」の中に「家族に対する支援」があります。</p> <p>一方、熊本市の「障がい者プラン施策の体系(案)」には「家族」への視点がどこにも見受けられません。</p> <p>「自立と共生のまちづくり」には障がい当事者のみならず、その「家族」も含めた包括的な支援の在り方を検討すべきかと考えますが、熊本市はどのようにお考えでしょうか。</p> <p>さらに、「支援者への支援」という視点も、見落としてはならないものと考えます。震災時の教訓を生かすのはもちろん、相談支援事業所が慢性的に抱えている課題に対して、現実的で具体的な改善策を、家族支援と同じく、次期プランに盛り込むことが必要だと思われま。</p>	<p>松村委員</p>	<p>(家族への支援) ライフステージに応じた適切な支援を行うためには、本人はもとより家族のニーズも把握し、支援体制を充実させる必要があると考えています。 次期障がい者プランでは、分野別施策「3 利用者本位の地域生活支援」の施策の方向性「2 障がい特性に応じた相談・支援体制の充実」や分野別施策「6 障がい児支援の充実」の中で具体的な取り組みについて記載する予定です。</p> <p>(支援者への支援) 障がいの特性に応じて、適切な相談支援が行えるよう、相談支援体制の充実を図ることは大変重要だと考えています。 相談支援に限らず、必要な障害福祉サービスを将来にわたって安定的に提供するため、民間事業者や関係機関と連携し、障害福祉分野に関わる人材の確保・育成についても、引き続き取り組んでいく予定としています。 次期障がい者プランでは、分野別施策「3 利用者本位の地域生活支援」の施策の方向性「2 障がい特性に応じた相談・支援体制の充実」及び「5 福祉に携わる人材の養成」の項目の中で具体的な取り組みについて記載する予定です。</p>